

「防災・耐震対策に役立つ実用成果説明会」を開催しました

平成29年11月2日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「防災・耐震対策に役立つ実用成果説明会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成29年10月20日に防災・耐震技術に関する研究開発成果、特に開発製品や実用的な研究成果等をご紹介することを目的として「防災・耐震対策に役立つ実用成果説明会」を開催し、鉄道事業者を中心に29社、114名の方にご来場いただきました。講演会では、地震応答制御研究室 研究室長 山田聖治による「鉄道地震災害シミュレータによる全線耐震性能評価」他2件の講演を行い、実用化した研究成果等についてご紹介いたしました。講演会に続いて12件の研究成果の展示会を行い、模型や実際の商品等を用いて具体的に説明し、ご来場者との間で技術的な質疑や今後の展開等に関する意見交換を行いました。

記

1. 開催日時：平成29年10月20日(水) 15時00分から17時30分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 講堂およびインタラクションスクエア

3. プログラム

●講演会

「開会の挨拶」

- | | |
|--|-------|
| 事業推進部長 | 舘山 勝 |
| (1) 「鉄道地震災害シミュレータによる全線耐震性能評価」
鉄道地震工学研究センター 地震応答制御研究室 研究室長 | 山田 聖治 |
| (2) 「のり面工のリニューアル技術」
防災技術研究部 地盤防災研究室 副主任研究員 | 高柳 剛 |
| (3) 「既設山岳トンネルの地震対策」
構造物技術研究部 トンネル研究室 研究室長 | 岡野 法之 |

●展示会

- (1) 既設山岳トンネルの変状・地震対策（裏込め注入、ロックボルト、FRP帯板接着）
- (2) 既設土留め構造物の耐震補強技術（地山補強、ピンナップ、ネット補強）
- (3) 既設RC高架橋の補修・補強工法（柱、梁、スラブおよび高欄の補修・補強工法）
- (4) 新しいアルゴリズムを搭載した早期警報用地震計
- (5) 鉄道用地震情報公開システム
- (6) 鉄道地震災害シミュレータによる全線耐震性能評価
- (7) 脈状注入による液状化対策
- (8) 耐震設計支援技術
- (9) 架線着霜予測プログラム
- (10) 地盤振動の評価
- (11) のり面工のリニューアル工法（吹付け受圧板工法）
- (12) 気象災害ハザードマッピング



講演会



展示会